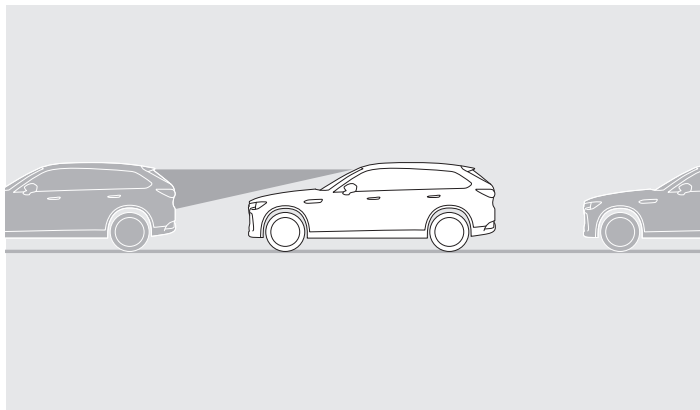


CX-80 SAFETY

CX-80 SAFETY

*装備されるグレード等の詳細はTechnical Informationの主要装備をご確認ください。

ヒューマンエラーによる事故の回避、被害軽減をサポートする安全技術



*イラストは機能説明のイメージです。

*ドライバーモニタリング装着車は、ドライバーが正面を注視していないときに衝突する可能性があるとして、ドライバーモニタリング非装着車よりも早期に衝突警報を行います。

前方車・歩行者・自転車を検知する **運転支援機能**

スマート・ブレーキ・サポート

[前方検知機能] (SBS)^{※1※2※12} <全車標準装備>

レーダーセンサーおよびカメラが前方の対象物（前方車、歩行者、自転車、自動二輪車）へ衝突する可能性があるとして判断したとき、ディスプレイの表示と警報音でドライバーに衝突の危険性を知らせます。衝突を回避できないと判断すると、ブレーキ制御を行うことで衝突時の被害の軽減を図ります。ドライバーがブレーキペダルを踏んだ場合は、ブレーキが素早く確実にかかるようサポートします。

- 対象が前方車：約4km/h以上
- 対象が歩行者/自転車：約10km/h～約80km/h

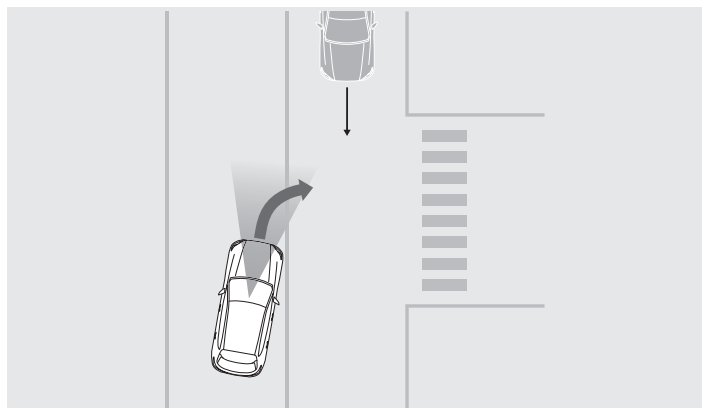


機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

CX-80 SAFETY

*装備されるグレード等の詳細はTechnical Informationの主要装備をご確認ください。

ヒューマンエラーによる事故の回避、被害軽減をサポートする安全技術



*イラストは機能説明のイメージです。

交差点での右折時に対向車を検知する **運転支援機能**

スマート・ブレーキ・サポート

[右直事故回避アシスト機能] (SBS) ※1※2※12

<標準装備>

■ XD (L Package, Exclusive Mode)

■ XD-HYBRID (Exclusive Sports, Exclusive Modern, Premium Sports, Premium Modern)

■ PHEV (L Package, Premium Sports, Premium Modern)

<メーカーオプション(セーフティ&シースルービューパッケージ)>

■ XD (S Package)

約4～20km/hで走行中に交差点で右ウインカーを点けて右折しているとき、自車と対向車との間の中央線を認識している場合、レーダーセンサーおよびカメラで対向車線を直進してくる車両を検知。衝突する可能性があると判断すると、ディスプレイの表示と警報音でドライバーに危険性を通知します。衝突を回避できないと判断した場合、ブレーキ制御を行うことで衝突時の被害の軽減を図ります。

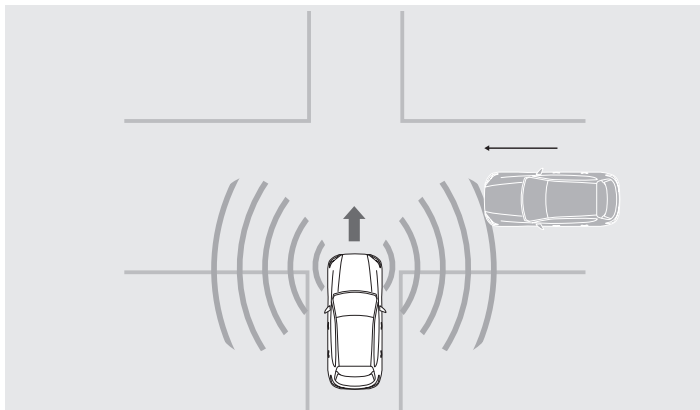


機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

CX-80 SAFETY

*装備されるグレード等の詳細はTechnical Informationの主要装備をご確認ください。

ヒューマンエラーによる事故の回避、被害軽減をサポートする安全技術



*イラストは機能説明のイメージです。

前進時に左右から接近する車を検知する **運転支援機能**

スマート・ブレーキ・サポート

[前進時左右接近物検知機能] (SBS-FC) ※1※2※12

＜標準装備＞

■ XD-HYBRID (Exclusive Sports, Exclusive Modern, Premium Sports, Premium Modern)

■ PHEV (L Package, Premium Sports, Premium Modern)

見通しの悪い道路などでの接近車両との出会い頭事故の回避
および被害軽減を図ります。

- 自車が約5～20km/hで直進しているとき
- 接近車両が約20～60km/hで一定速度で走行しているとき



機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

CX-80 SAFETY

*装備されるグレード等の詳細はTechnical Informationの主要装備をご確認ください。

ヒューマンエラーによる事故の回避、被害軽減をサポートする安全技術

スマート・ブレーキ・サポート [対向車衝突被害軽減機能] (SBS) ※1※2※12 運転支援機能

<全車標準装備>

自車が同一車線上の対向車と衝突する可能性があるとき、衝突被害軽減ブレーキを作動させることで対向車と正面衝突した際の被害軽減を図ります。

レーダーセンサー(フロント)およびフォワードセンシングカメラ(FSC)が検出する情報をもとに、自車が同一車線上の対向車と正面衝突する可能性があると判断した時に、警告表示および警報音により運転者に対して衝突の危険性を知らせます。さらに衝突を回避できない、と判断したときは衝突被害軽減ブレーキを作動させます。

【作動条件】

- 車速が45km/h～約100km/hのとき
- DSCが作動していないとき
- 対向車が自車と同じ車線内を走行しているとき
- 車線の両側の境界を検知しているとき
- 車線内に、対向車を回避行動をとるためのスペースがないとき

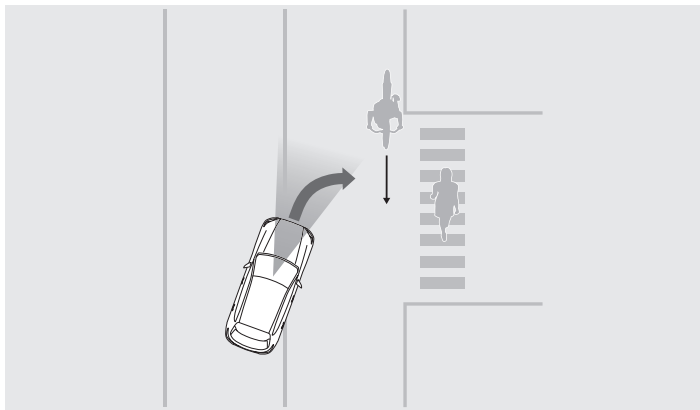


機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

CX-80 SAFETY

*装備されるグレード等の詳細はTechnical Informationの主要装備をご確認ください。

ヒューマンエラーによる事故の回避、被害軽減をサポートする安全技術



*イラストは機能説明のイメージです。

交差点での右左折時に歩行者・自転車を検知する **運転支援機能**

スマート・ブレーキ・サポート

[交差点事故回避アシスト機能] (SBS) ※1※2※12

<標準装備>

■ XD (L Package, Exclusive Mode)

■ XD-HYBRID (Exclusive Sports, Exclusive Modern, Premium Sports, Premium Modern)

■ PHEV (L Package, Premium Sports, Premium Modern)

<メーカーオプション(セーフティ&シースルービューパッケージ)>

■ XD (S Package)

約8～20km/hで走行中に交差点で右左折するとき、カメラで歩行者、自転車を検知。衝突する可能性があると判断すると、ディスプレイの表示と警報音でドライバーに危険性を通知します。衝突を回避できないと判断した場合、ブレーキ制御を行うことで衝突時の被害の軽減を図ります。

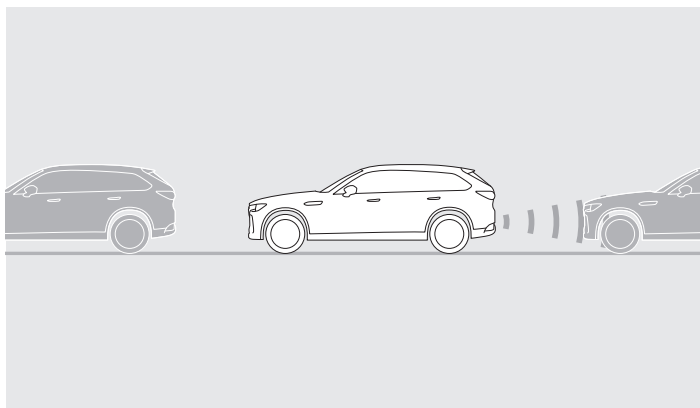


機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

CX-80 SAFETY

*装備されるグレード等の詳細はTechnical Informationの主要装備をご確認ください。

ヒューマンエラーによる事故の回避、被害軽減をサポートする安全技術



*イラストは機能説明のイメージです。

後進時に車や障害物を検知する **運転支援機能**

スマート・ブレーキ・サポート

[後方検知機能] (SBS-R)^{※2※12} <全車標準装備>

約2～15km/hで後退中に後方の障害物と歩行者を超音波センサーとリアカメラが検知し、衝突を回避できないと判断したとき、ブレーキ制御を行うことで衝突時の被害の軽減を図ります。

■フロント/リアパーキングセンサー(センター/コーナー):

超音波センサーで車両周辺の障害物を検知し、警告音でドライバーに知らせます。

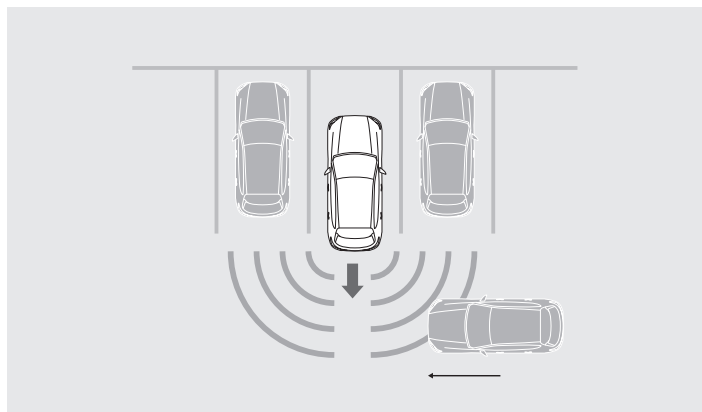


機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

CX-80 SAFETY

*装備されるグレード等の詳細はTechnical Informationの主要装備をご確認ください。

ヒューマンエラーによる事故の回避、被害軽減をサポートする安全技術



*イラストは機能説明のイメージです。

後進時に左右から接近する車を検知する **運転支援機能**

スマート・ブレーキ・サポート

[後進時左右接近物検知機能] (SBS-RC)^{※3※12}

＜全車標準装備＞

0～約15km/hで後退中に自車の左右や後方に接近してきた車両を検知。衝突を回避できないと判断したとき、ブレーキ制御を行うことで衝突時の被害の軽減を図ります。



機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

CX-80 SAFETY

*装備されるグレード等の詳細はTechnical Informationの主要装備をご確認ください。

ヒューマンエラーによる事故の回避、被害軽減をサポートする安全技術

■AT誤発進抑制制御[前進時]イメージ図



*カメラはフロントガラス上部に設置、
超音波センサーはフロントバンパーに設置。

■AT誤発進抑制制御[後退時]イメージ図



*イラストは機能説明のイメージです。

ペダルの誤操作による急発進を抑制する **運転支援機能**

AT誤発進抑制制御

[前進時/後退時] ※2※4※12 <全車標準装備>

走行中(前進時:対象が歩行者または先行車の場合約50km/h以下、後退時:約15km/h以下)や停車時、カメラや超音波センサーが前方または後方に歩行者や車両・壁などの障害物を検知しているにも関わらず、必要以上にアクセルペダルが踏み込まれたときに、表示および警報音と同時にエンジン出力を抑制。前進時には、衝突を回避できないと判断したとき、ブレーキ制御を行うことで衝突時の被害の軽減を図ります。



機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

CX-80 SAFETY

*装備されるグレード等の詳細はTechnical Informationの主要装備をご確認ください。

危険の芽「ヒヤリ・ハット」を減らすための安全技術

安全運転に必要な視認性を確保する

アダプティブ・LED・ヘッドライト(ALH) ※5※12 (1/2)

<標準装備>

■XD(S Package, L Package, Exclusive Mode)

■XD-HYBRID(Exclusive Sports, Exclusive Modern, Premium Sports, Premium Modern)

■PHEV(L Package, Premium Sports, Premium Modern)

夜間走行時に先行車や対向車の状況をクルマが判断。ヘッドランプの照射範囲や明るさを自動的に変化させるシステムです。

*市街地走行時や外部の照明環境、走行スピードなどにより、機能が一部制限されます。



機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

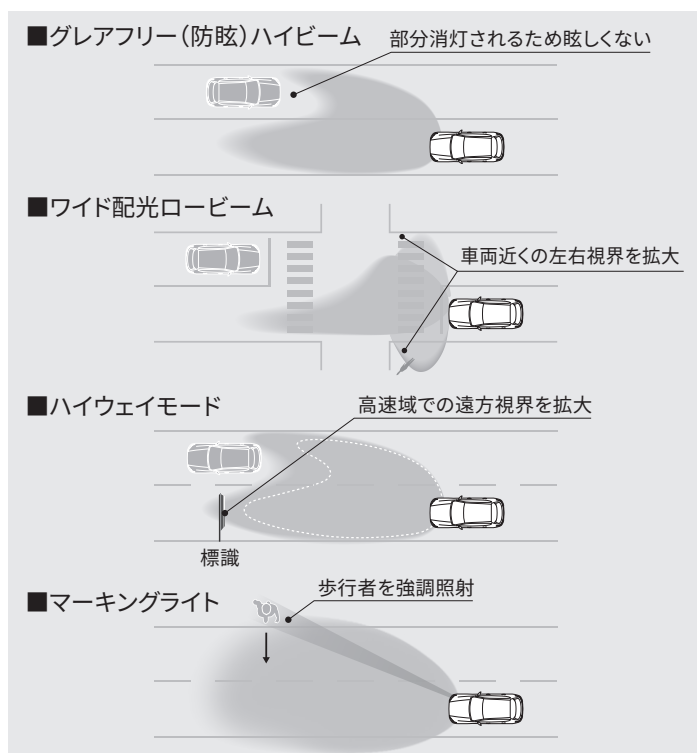
CX-80 SAFETY

*装備されるグレード等の詳細はTechnical Informationの主要装備をご確認ください。

危険の芽「ヒヤリ・ハット」を減らすための安全技術

安全運転に必要な視認性を確保する

アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH) ※5※12 (2/2)



- グレアフリー（防眩）ハイビーム：
約30km/h以上で先行車や対向車の状況に応じてハイビームの照射範囲を自動的にコントロール
- ワイド配光ロービーム：
約40km/h以下で車両の左右側方を広く照射
- ハイウェイモード：
約95km/h以上でより遠方を照射
- マーキングライト：
約20～80km/hで自車と衝突する可能性がある歩行者をヘッドランプで強調照射

*イラストは機能説明のイメージです。

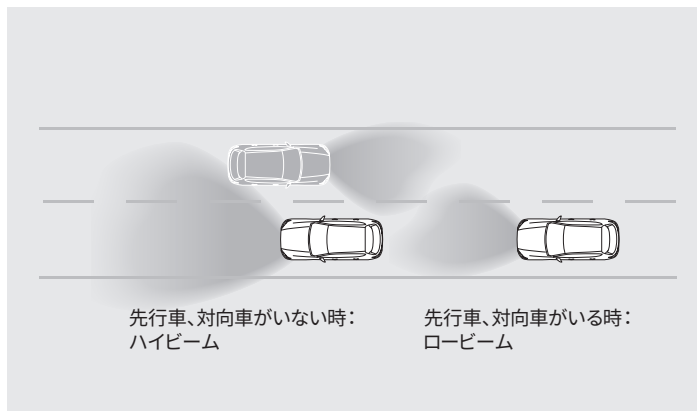


機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

CX-80 SAFETY

*装備されるグレード等の詳細はTechnical Informationの主要装備をご確認ください。

危険の芽「ヒヤリ・ハット」を減らすための安全技術



*イラストは機能説明のイメージです。

安全運転に必要な視認性を確保する

ハイ・ビーム・コントロールシステム(HBC) ※5※12

<標準装備>

■XD(XD)

夜間走行時に先行車や対向車の状況をクルマが判断。ハイビーム・ロービームを自動的に切り替えるシステムです。

- ハイビーム：
約30km/h以上で走行中に、前方に先行車や対向車がないとき
- ロービーム：
次の条件のいずれかを満たしている場合に、HBCがヘッドランプを下向き（ロービーム）に切り替えます。
 - ・車速が約20km/h未満のとき
 - ・街灯が並んでいるエリアや路面の明るい街中を走行しているとき
 - ・システムが前方車のランプ類を検知したとき



機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

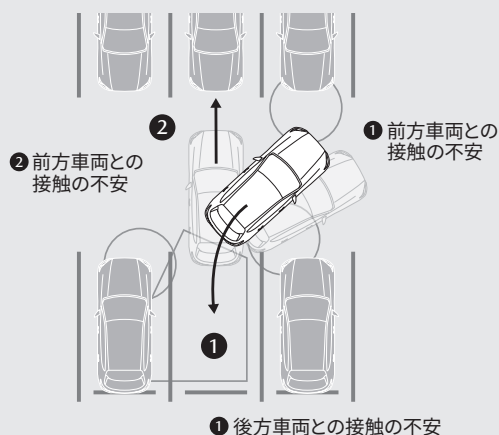
CX-80 SAFETY

*装備されるグレード等の詳細はTechnical Informationの主要装備をご確認ください。

危険の芽「ヒヤリ・ハット」を減らすための安全技術

■役立つシーン

① バックで駐車枠内に進入 → ② 切り返して前進



*イラストは機能説明のイメージです。

見えない部分の危険察知をサポートする

360°ビュー・モニター ※3※6※7※12 <全車標準装備>

車両の前後左右にある4つのカメラを活用し、センターディスプレイの表示や各種警報音で低速走行時や駐車時に車両周辺の確認を支援するシステムです。車両が透過したかのような映像で車両周辺を確認できるシースルービュー機能も選択できます。

● トップビュー/フロントビュー/フロントワイドビュー/サイドビュー/リアビュー/リアワイドビュー/フロントシースルービュー/リアシースルービュー



機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

CX-80 SAFETY

*装備されるグレード等の詳細はTechnical Informationの主要装備をご確認ください。

危険の芽「ヒヤリ・ハット」を減らすための安全技術

シースルービュー ※12

<標準装備>

■ XD(L Package, Exclusive Mode)

■ XD-HYBRID(Exclusive Sports, Exclusive Modern, Premium Sports, Premium Modern)

■ PHEV(L Package, Premium Sports, Premium Modern)

<メーカーオプション(セーフティ & シースルービューパッケージ)>

■ XD(S Package)

市街地や狭い場所でより安心して運転していただける機能です。シースルービューは、進行方向の先と進行方向側のタイヤ周辺の状況をモニター上の表示で確認できます。画面上で駐車場や細い路地などの狭い場所において、発進・徐行する際に接触する可能性のある対象をいち早く確認することができます。また、クルマのボディの輪郭が表示されているので、周囲にある障害物やスペースに対するクルマの向きが把握できるため、発進時や駐車時の安心感を与えます。

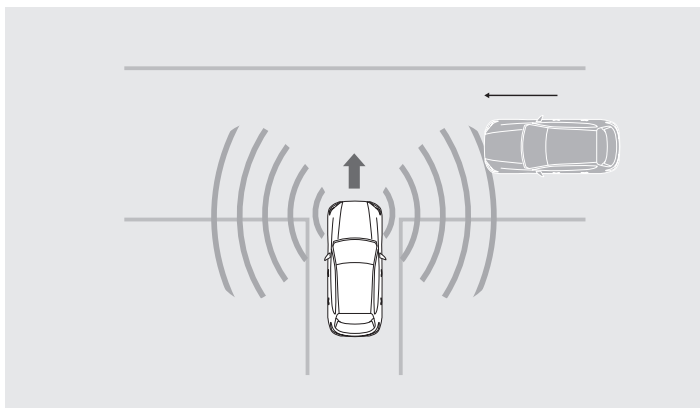


機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

CX-80 SAFETY

*装備されるグレード等の詳細はTechnical Informationの主要装備をご確認ください。

危険の芽「ヒヤリ・ハット」を減らすための安全技術



*イラストは機能説明のイメージです。

左右前方からの車の接近を通知する

前側方接近車両検知(FCTA)^{※3※12}

<標準装備>

- XD(S Package, L Package, Exclusive Mode)
- XD-HYBRID(Exclusive Sports, Exclusive Modern, Premium Sports, Premium Modern)
- PHEV(L Package, Premium Sports, Premium Modern)

交差点へ進入しているときに左右前方の死角から接近する車両を検知して、その接近状態に応じて表示を点灯させます。その状態で発進(約10km/h以下)すると表示が点滅。警報音とともにドライバーに危険を知らせます。

【作動条件】

- 車速が約10km/h以下のとき
- 接近車両などが自車前側方から約5km/h以上で接近しているとき

*FCTA:Front Cross Traffic Alert

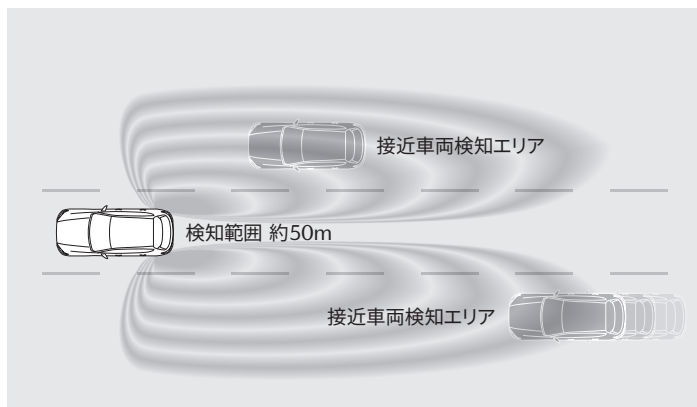


機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

CX-80 SAFETY

*装備されるグレード等の詳細はTechnical Informationの主要装備をご確認ください。

危険の芽「ヒヤリ・ハット」を減らすための安全技術



*イラストは機能説明のイメージです。

後方からの車の接近を通知する

ブラインド・スポット・モニタリング(BSM)

[降車時警告機能付] ※8※12 <全車標準装備>

約15km/h以上で前進しているときに後方からの接近車両を検知すると、接近状態に応じてドアミラー表示を点灯。その状態で点灯した側にウィンカー操作すると、点滅表示と警報音でドライバーに危険を知らせます。さらに降車時においても、後方から接近する車両や自転車を検知すると、各種表示と警報音でドライバーに危険を知らせます。

*降車時警告機能はXD(XD)には搭載されていません。

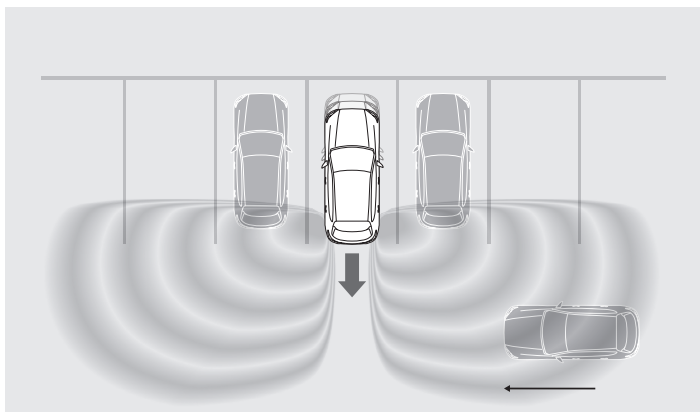


機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

CX-80 SAFETY

*装備されるグレード等の詳細はTechnical Informationの主要装備をご確認ください。

危険の芽「ヒヤリ・ハット」を減らすための安全技術



*イラストは機能説明のイメージです。

後方からの車の接近を通知する

後側方接近車両検知(RCTA) ※3※12 <全車標準装備>

駐車場などで自車が後退するときに左右後方から接近する車両を検知して、各種表示と警報音でドライバーに危険を知らせます。

*RCTA:Rear Cross Traffic Alert

*以下のような場合にはRCTAが作動しない、もしくは作動しにくいことがあります。

- 後退時の車速が約10km/h以上のとき
- 自車の真後ろから車両が接近してきたとき
- 自車の斜め後ろから車両が接近してきたとき

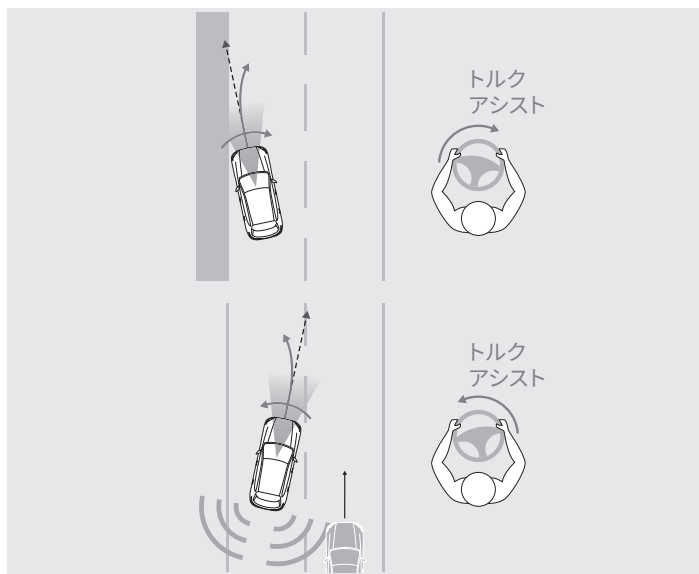


機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

CX-80 SAFETY

*装備されるグレード等の詳細はTechnical Informationの主要装備をご確認ください。

危険の芽「ヒヤリ・ハット」を減らすための安全技術



*イラストは機能説明のイメージです。

側方危険回避アシスト機能は、約50Km/h以上で、車線の白線(黄線)を検知し、かつ後側方から接近する車両との衝突の可能性がある状態で車線変更を行おうとした場合、ドライバーのハンドル操作をアシストして衝突の回避を支援するシステムです。

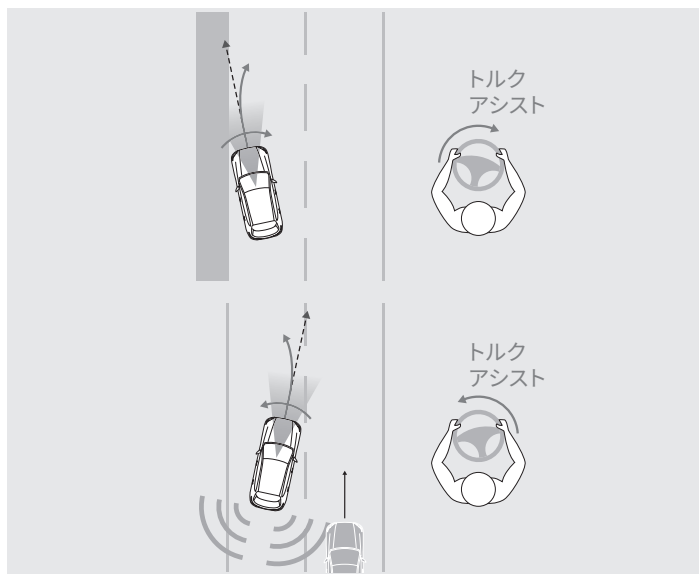


機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

CX-80 SAFETY

*装備されるグレード等の詳細はTechnical Informationの主要装備をご確認ください。

危険の芽「ヒヤリ・ハット」を減らすための安全技術



*イラストは機能説明のイメージです。

車線からの逸脱回避を支援する **運転支援機能**

緊急時車線維持支援[側方危険回避アシスト機能 & ロードキープアシスト機能 & 対向車両衝突回避アシスト機能] (ELK)^{※8※9※12} (2/2)

ロードキープアシスト機能はカメラで路肩の芝生や縁石などを検知し、路外へ逸脱する可能性があるとしてシステムが判断するとハンドル操作をアシストします。対向車両衝突回避アシスト機能は、対向車線の車両と衝突する可能性があるとき、ハンドル操作をアシストすることで車線を維持し、危険回避を図ります。どちらの機能も約60km/h以上での走行中に作動します。

*ELK: Emergency Lane Keeping

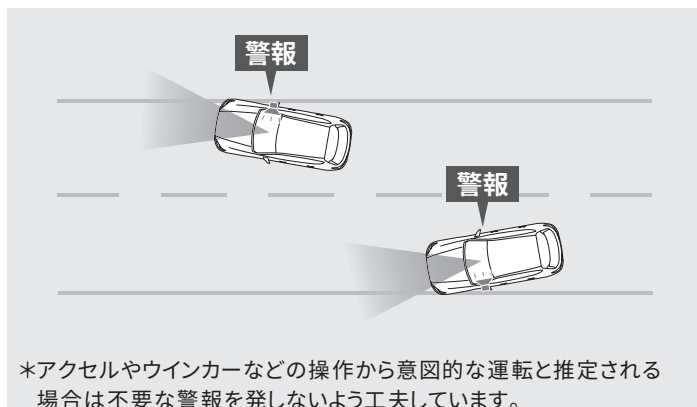


機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

CX-80 SAFETY

*装備されるグレード等の詳細はTechnical Informationの主要装備をご確認ください。

危険の芽「ヒヤリ・ハット」を減らすための安全技術



*イラストは機能説明のイメージです。

車線からの逸脱を警告する

車線逸脱警報システム(LDWS) ※9※12 <全車標準装備>

自車が車線から逸脱する可能性があることを知らせるシステムです。約60km/h以上での走行中にカメラが車線の白線(黄線)を検知。自車が車線から逸脱する可能性があるとしてシステムが判断した場合に、警報によりドライバーに知らせます。

*LDWS: Lane Departure Warning System

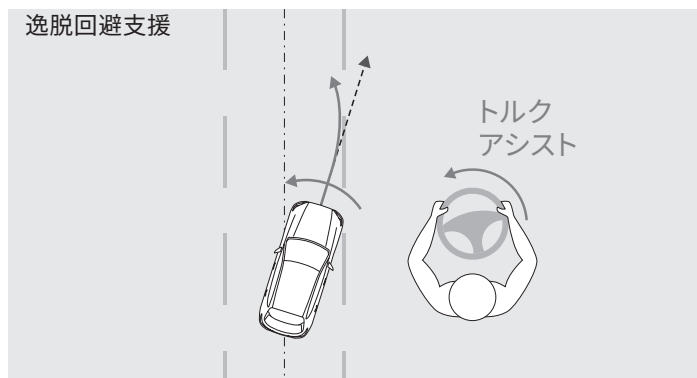


機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

CX-80 SAFETY

*装備されるグレード等の詳細はTechnical Informationの主要装備をご確認ください。

危険の芽「ヒヤリ・ハット」を減らすための安全技術



*イラストは機能説明のイメージです。

車線からの逸脱回避を支援する **運転支援機能**

レーンキープ・アシスト・システム(LAS) ※9※12

<標準装備>

- XD (S Package, L Package, Exclusive Mode)
- XD-HYBRID (Exclusive Sports, Exclusive Modern, Premium Sports, Premium Modern)
- PHEV (L Package, Premium Sports, Premium Modern)

自車が車線から逸脱する可能性があるると、ハンドル操作をアシストすることにより車線からの逸脱回避を支援するシステムです。約60km/h以上で走行中に車線の白線(黄線)を検知して、自車が車線から逸脱する可能性があるるとシステムが判断した場合に、電動パワーステアリングを作動させてドライバーのハンドル操作をアシスト。同時にマルチインフォメーションディスプレイとアクティブ・ドライビング・ディスプレイの表示でドライバーに知らせます。



機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

CX-80 SAFETY

*装備されるグレード等の詳細はTechnical Informationの主要装備をご確認ください。

運転負荷を軽減する安全技術 /

ドライバーの異常による事故の回避、被害軽減をサポートする安全技術



*画像は表示イメージです。実際にはフロントガラスに照射されます。

*TSR:Traffic Sign Recognition system

※13 ナビゲーションシステムを機能させるには、別途ショップオプションのマツダオンラインナビ用SDカードが必要になります。

少ない視線移動で表示認識できる

交通標識認識システム(TSR) ※10※12

<標準装備>

- XD(S Package, L Package, Exclusive Mode)
- XD-HYBRID(Exclusive Sports, Exclusive Modern, Premium Sports, Premium Modern)
- PHEV(L Package, Premium Sports, Premium Modern)

走行中にカメラやナビゲーションシステム※13が認識した交通標識を、アクティブ・ドライビング・ディスプレイとメーターに表示することで、交通標識の見落とし防止を図り、安全運転を支援するシステムです。表示した最高速度標識の速度を超過したときは、表示や警報音でドライバーに知らせます。

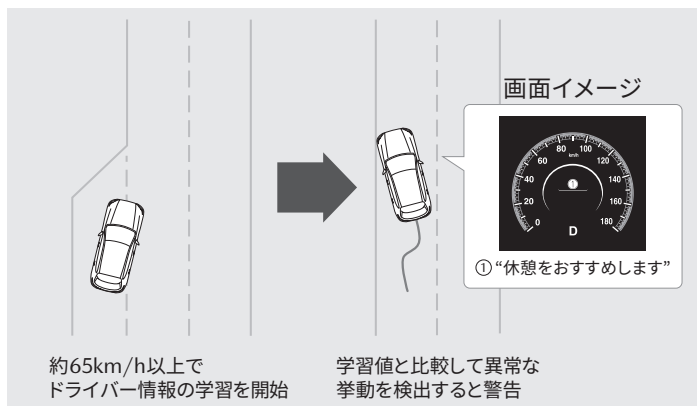


機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

CX-80 SAFETY

*装備されるグレード等の詳細はTechnical Informationの主要装備をご確認ください。

運転負荷を軽減する安全技術



*イラストは機能説明のイメージです。

ドライバーへの休憩をお勧めする

ドライバー・アテンション・アラート (DAA) ※12

<全車標準装備>

ドライバーの疲労や注意力の低下を検知し、ドライバーに休憩を促すシステムです。車線内を約65km/h以上で走行しているとき、クルマがドライバーの疲労増加や注意力低下を推定。マルチインフォメーションディスプレイの表示と警報音でドライバーへ休憩を促します。



機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

CX-80 SAFETY

*装備されるグレード等の詳細はTechnical Informationの主要装備をご確認ください。

運転負荷を軽減する安全技術

ドライバーの眠気・脇見を検知する

ドライバー・モニタリング ※11※12 (1/2)

<標準装備>

■ XD(L Package, Exclusive Mode)

■ XD-HYBRID(Exclusive Sports, Exclusive Modern, Premium Sports, Premium Modern)

■ PHEV(L Package, Premium Sports, Premium Modern)

<メーカーオプション(セーフティ&シースルービューパッケージ)>

■ XD(S Package)

ドライバー・モニタリングは、運転者の眠気や脇見を検知して、運転者に知らせるシステムです。眠気検知機能は、運転者の眠気の程度を検知します。運転者の眠気を検知すると、画面表示と警報音で運転者に休憩を促します。また、脇見検知機能は、運転者の脇見を検知すると、画面表示と警報音で運転者に注意を促します。

*ショッピングオプションのマツダオンラインナビ用SDカードの装着で、居眠り検知による運転者への異常判断機能が使えます。



機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

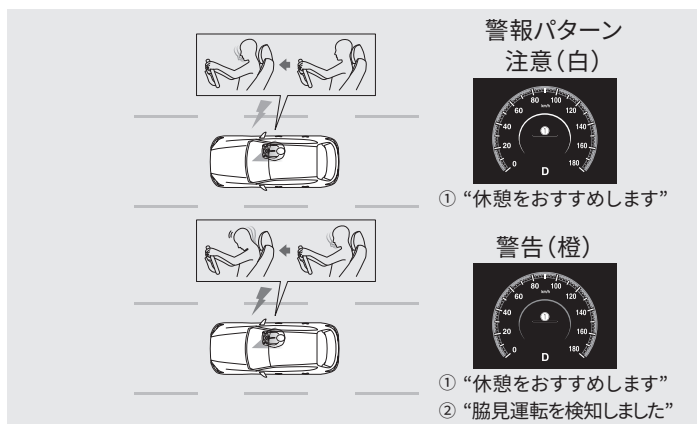
CX-80 SAFETY

*装備されるグレード等の詳細はTechnical Informationの主要装備をご確認ください。

運転負荷を軽減する安全技術

ドライバーの眠気・脇見を検知する

ドライバー・モニタリング ※11※12 (2/2)



*イラストは機能説明のイメージです。

● 眠気検知

警報パターン(注意): ①疲労や眠気を検出した場合

警報パターン(警告): ①より強い疲労や眠気を検出した場合

● 脇見検知

警報パターン(警告): ②運転者の脇見を検知した場合

● 眠気検知機能が作動するとき

次の条件をすべて満たしている場合に、眠気検知機能が作動します。

- ・ 車両を約20分以上走行させたとき
- ・ 車速が約5km/h以上のとき
- ・ システムが運転者の眠気を検知したとき

● 脇見検知機能が作動するとき

次の条件をすべて満たしている場合に、脇見検知機能が作動します。

- ・ 車速が約20km/h以上のとき
- ・ システムが運転者の脇見を検知したとき

脇見検知機能が作動している場合は、画面表示と警報音で運転者に注意を促します。



機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

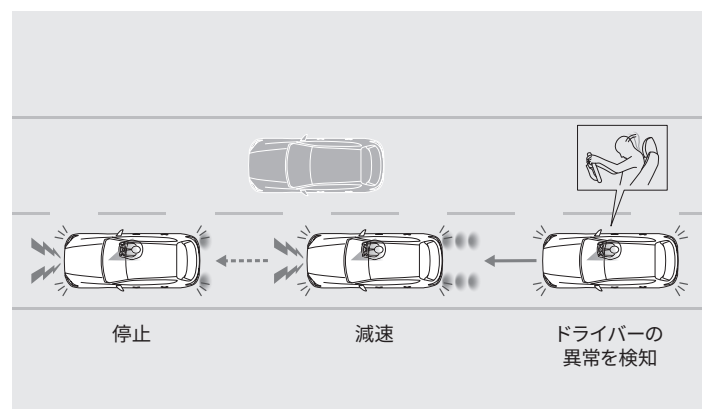
CX-80 SAFETY

*装備されるグレード等の詳細はTechnical Informationの主要装備をご確認ください。

運転負荷を軽減する安全技術

ドライバーの異常を検知し、事故の回避・事故の被害軽減を支援する **運転支援機能**

ドライバー異常時対応システム(DEA) ※11※12※14 (1/2)



*イラストは機能説明のイメージです。

*DEA:Driver Emergency Assist

ドライバー・モニタリングと連動し、高速道路、自動車専用道路および一般道を問わず、ドライバーが急病などで運転の継続が困難になった場合に、車両を減速・停止させることで、衝突事故やその被害の軽減に寄与するシステムです。

※14 ショップオプションのマツダオンラインナビ用SDカードの装着で、路肩停車機能が使えます。

<標準装備>

- XD(L Package, Exclusive Mode)
- XD-HYBRID(Exclusive Sports, Exclusive Modern, Premium Sports, Premium Modern)
- PHEV(L Package, Premium Sports, Premium Modern)

<メーカーオプション>

- XD(S Package)

*XD(S Package)にドライバー異常時対応システム(DEA)を装着した場合、セーフティ&シースルービューパッケージ及び、パワーリフトゲートパッケージが同時装着されます。



機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

CX-80 SAFETY

＊装備されるグレード等の詳細はTechnical Informationの主要装備をご確認ください。

運転負荷を軽減する安全技術

ドライバーの異常を検知し、事故の回避・事故の被害軽減を支援する **運転支援機能**

ドライバー異常時対応システム(DEA) ※11※12※14 (2/2)

【機能の概要】

- DEAは、ドライバーの異常を検知、または乗員が操作することにより作動します。
- DEAが作動するとハザードランプの点滅を開始し、間もなく緊急停車することを乗員に報知しながら、ドライバーの正常/異常判定を行います。
- ドライバーが通常運転状態に復帰せずDEAがキャンセルされない場合には、ハザードランプに加え、ブレーキランプの点滅とホーンの吹鳴を開始し、車両を減速・停止させます。

【DEAが作動する条件】

高速道路/自動車専用道路/一般道を5km/h以上で一定時間走行を継続している場合に、システムが運転者に異常が起きていると判断すると、DEAが作動します。

DEAが運転者の異常を検知する方法は2つあります。

① システムの自動検知による作動

DEAは、運転者の状態や運転操作のデータをもとに、運転者の異常を検知します。

② 乗員の操作による作動

運転者の異常を察知した場合などに、運転者自身または同乗者が、以下 1 および 2 の操作を完了することで、DEA が作動します。

(1) SOSスイッチを操作する。

(2) センターディスプレイの表示内容に従い、EPBスイッチを引き上げる。



機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

CX-80 SAFETY

*装備されるグレード等の詳細はTechnical Informationの主要装備をご確認ください。

運転負荷を軽減する安全技術

高速道路での渋滞時に疲労軽減をサポートする **運転支援機能**

クルージング&トラフィック・サポート(CTS)

緊急停止支援機能付(ドライバー・モニタリング連動)^{※2※12} (1/2)

<標準装備>

■XD(L Package, Exclusive Mode)

■XD-HYBRID(Exclusive Sports, Exclusive Modern, Premium Sports, Premium Modern)

■PHEV(L Package, Premium Sports, Premium Modern)

<メーカーオプション(セーフティ&シースルービューパッケージ)>

■XD(S Package)

追従走行機能とステアリングアシスト機能により、高速道路や自動車専用道路の渋滞時に運転疲労の軽減をサポートするシステムです。先行車との車間距離を一定に保つ追従走行に加え、車線を検知している場合はステアリングアシスト機能が車線に沿った走行をアシスト。低速で車線を検知していない場合は、先行車の走行軌跡に沿った走行をアシストします。



機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

CX-80 SAFETY

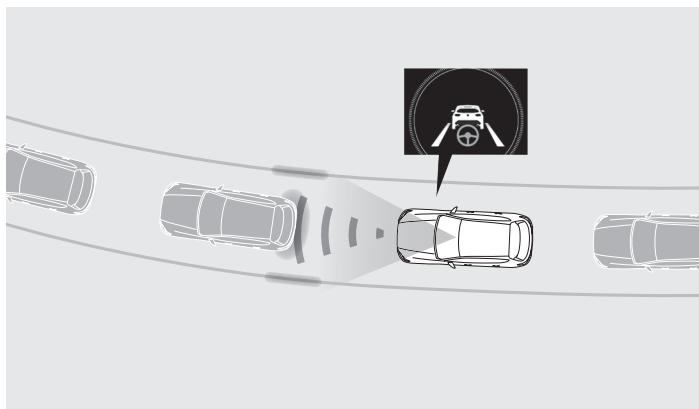
*装備されるグレード等の詳細はTechnical Informationの主要装備をご確認ください。

運転負荷を軽減する安全技術

高速道路での渋滞時に疲労軽減をサポートする **運転支援機能**

クルージング&トラフィック・サポート(CTS)

緊急停止支援機能付(ドライバー・モニタリング連動)^{※2※12} (2/2)



*イラストは機能説明のイメージです。

また、CTS作動中にハンドルから手を放した状態、ハンドルを軽く握った状態、または前方不注意を検知し、それに対する警報が一定時間解除されない場合は、緊急停止支援機能が作動することがあります。

- 追従走行機能: 0km/h～高速域まで
- ステアリングアシスト機能: 0km/h～高速域まで(白線検知時)

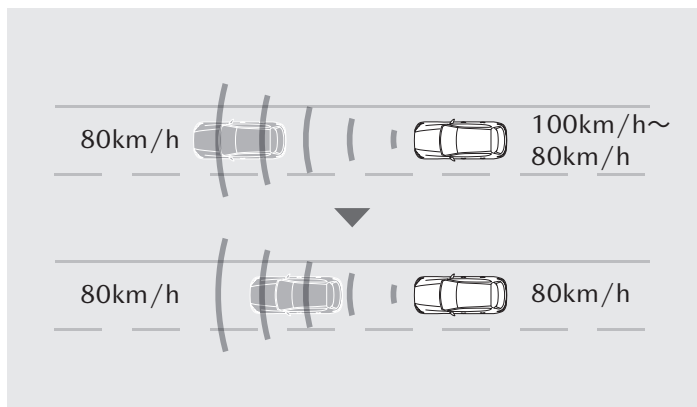


機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

CX-80 SAFETY

*装備されるグレード等の詳細はTechnical Informationの主要装備をご確認ください。

運転負荷を軽減する安全技術



*イラストは機能説明のイメージです。

車間距離を一定間隔で保つ **運転支援機能**

マツダ・レーダー・クルーズ・コントロール(MRCC) ※2※12

＜全車標準装備＞

※15 ショップオプションのマツダオンラインナビ用SDカードの装着で、速度標識連動機能が使えます。

フロントレーダーセンサーが先行車を検知することで、アクセルペダルやブレーキペダルを踏まなくても、設定した速度での定速走行や、車間距離を一定に保ちながら追従走行ができるシステムです。また一部グレードには速度標識の速度を取り込む速度標識連動機能※15（別売のショップオプションが必要）も付いています。

*速度標識連動機能はXD(XD)には登載されていません。

●全車速追従機能付:0km/h～高速域まで



機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

CX-80 SAFETY

ヒューマンエラーによる事故の回避、被害軽減をサポートする安全技術

安全運転をサポートする電子キー

ドライビングサポートプラス^{※12} <ショップオプション>

ショップオプションの電子キーでドアロックを解錠すると、ドライビングサポートプラスを始動。ドライビングサポートプラスは、低速走行(前進時:約30km/h以下、後退時:約15km/h以下)時に、ペダルの踏み間違いなどでアクセルペダルが速く強く踏み込まれたとシステムが判断したとき、EVシステム/エンジンの出力を抑制することで、車両が急加速しないよう制御します。

＊標準装備のキーを同時に携帯すると、ドライビングサポートプラスが作動しない場合がございます。



機能を安全にお使いいただくために、右下のリンクより詳細説明のページを必ずご確認ください。

CX-80 SAFETY

万が一の事故や衝突による被害を軽減するための技術



安全運転サポート車(サポカー S・ワイド)に該当

経済産業省や国土交通省などが普及啓発を推進している、高齢者を含む運転者を先進安全技術で支援し交通事故防止を図る「安全運転サポート車(サポカー S・ワイド)」に該当しています。サポカー S・ワイドは、被害軽減ブレーキ(対歩行者)、ペダル踏み間違い時加速抑制装置、車線逸脱警報、先進ライトを搭載した車です。



*対象車種、サポカーSの区分についてはマツダオフィシャルウェブに掲載しております。上記QRよりご覧ください。

https://www.mazda.co.jp/purchase/support_car/

こちらでマツダ先進安全技術
i-ACTIVSENSE ガイドブックを ▶
ご覧いただけます。



<https://www.mazda.co.jp/purchase/webcatalog/>

CX-80 SAFETY

安全技術について

安全にお使いいただく上での留意事項(1/2)

- ※1 対象物(特殊な外観をした車両、部分的に見えている、隠れている、もしくは背景に溶け込んでいる車両と歩行者など)、天候状況(雨・雪・霧など)、道路状況(カーブが連続する道路、夜間や夕暮れなど視界の悪い時など)などの条件によっては適切に作動しない場合があります。
- ※2 対象物(レーダー波または超音波を反射しにくい形状の車両など)、天候状況(雨・雪・霧など)、道路状況(カーブが多い、坂の繰り返しなど)などの条件によっては適切に作動しない場合があります。
- ※3 天候状況(雨・雪など)、隣接する壁や接近車両の状況などの条件によっては適切に作動しない場合があります。
- ※4 道路状況(急カーブ、急な坂道など)、天候状況(雨・雪・霧など)、障害物の形状(低い・小さい・細いなど)などの条件によっては適切に作動しない場合があります。
- ※5 周囲に光源があるとき(街灯・信号機など)、天候状況(雨・雪・霧など)、道路状況(カーブが多い・起伏が激しいなど)などの条件によっては適切に作動しない場合があります。システムを過信せず、つねに周囲の状況に注意して、必要に応じて上向き(ハイビーム)と下向き(ロービーム)を切り替えるなど安全運転を心がけてください。
- ※6 カメラが映し出す範囲やセンサーの検出範囲は限られています。また夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。画面はイメージで実際とは異なる場合があります。安全のため、モニターの映像を過信せず目視による安全確認を行いながら運転してください。
- ※7 字光式ナンバープレートとの同時装着はできません。車速約15km/hを超えると画面が消える設定としています。
- ※8 天候状況(雨・雪など)、接近車両の状況(自車に接近してこない、速度差がなく長時間並走しているなど)、道路状況(道路幅が極端に広い/狭いなど)などの条件によっては適切に作動しない場合があります。

CX-80 SAFETY

安全技術について

⚠ 安全にお使いいただく上での留意事項(2/2)

- ※9 天候状況(雨・雪・霧など)、道路状況(急カーブ・車線幅が極端に広い/狭い・車線の白線(黄線)が見えにくいなど)などの条件によっては適切に作動しない場合があります。
 - ※10 対象標識(明るすぎる・暗すぎる・汚れ、雪、木などで隠れているなど)、天候状況(雨・雪・霧など)、道路状況(カーブが連続する道路など)などの条件によっては適切に作動しない場合があります。
 - ※11 頻繁に顔の向きを動かす、目や顔の一部が隠れている、光の環境が大きく変化するなどの条件によっては適切に作動しない場合があります。
 - ※12 SBS、SBS-FC、SBS-R、パーキングセンサー、SBS-RC、AT誤発進抑制制御、ALH、HBC、360°ビュー・モニター、シースルービュー、FCTA、BSM、RCTA、ELK、LDWS、LAS、TSR、DAA、ドライバー・モニタリング、DEA、CTS、MRCC、ドライビングサポートプラスは、ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、事故被害や運転負荷の軽減を目的としています。したがって、各機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。
 - ※13 ナビゲーションシステムを機能させるには、別途ショップオプションのマツダオンラインナビ用SDカードが必要になります。
 - ※14 ショップオプションのマツダオンラインナビ用SDカードの装着で、路肩停車機能が使えます。
 - ※15 ショップオプションのマツダオンラインナビ用SDカードの装着で、速度標識連動機能が使えます。
- その他、重要な注意事項がございますので、営業スタッフにおたずねいただくか取扱説明書をご確認ください。